社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 平成29年02月06日

任云貝	[ 平総百登]	用計画 📝	任云其本登佣総合父	(11) 金							平成29年02月	306日
計画の名称	愛荘町におけ	る良好な水環境の肝	形成 (その2)									
計画の期間	平成28年	度 ~ 平成3	2 年度 (5年間)							重点配分対象の該当		
交付対象	愛荘町											
計画の目標	愛荘町におけ	る下水道面整備事業	業の早期完了を目指す。									
全体事業費	費(百万円)	合計 (A+B+	- C + D)	354 A	354 B	0 C	0 D	0	効果促進事業費の割合C/	(A+B+C+D)	0	%

	計画の成果目標(定量的指標)							
番号		定量的指標の現況値及び目標値						
钳勺	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
	· ·	(H28当初)	(H30末)	(H32末)				
1	・現在の下水道処理人口普及率を99.1% (H27) から100% (H32) に増加させる。							
	平成元年から着手し、町全体を琵琶湖流域下水道の関連公共下水道事業として普及推進を図ってきているところであるが、未整備地区の早期完了を目指し整備していく	99%	99%	100%				
	愛荘町の下水道処理区域人口(人)/愛荘町の行政人口:20, 221(人)							
	· ·							
	· ·							
	· ·							
	· ·							

備考等	個別施設計画を含む	_	国土強靱化を含む	_	定住自立圏を含む	_	連携中枢都市圏を含む -

A 基幹事業																
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別		直接間接		種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名		(年度) H31 H32	全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計 策定状況
		一体的に	実施する	ることに、	より期待	される効果			-	-1		 •	 I			
		備考														
下水道事業	A07- 001	下水道	一般	愛荘町	直接	愛荘町	管渠(	新設	東北部処理区関連 汚水	汚水管 Φ400, 300, 250, 200,	愛荘町			342		_
							汚水)		管の整備	150 L=1.6km						
	A07- 002	下水道	一般	愛荘町	直接	愛荘町	管渠 (	新設	効率的な施設設計の見直	施設計画の見直し	愛荘町			12		<u></u>
	'						汚水)		L						1	
												 	ı			
			T	$\Box$	$\top$		$\top$				小計			354		T
													'			
			T	T				T	<u> </u>		合計			354		T
															L	
			T			T										T
			T	T		T		T	<u> </u>	<u> </u>	<del></del>	T				T
												1				

案件番号: 0000001114

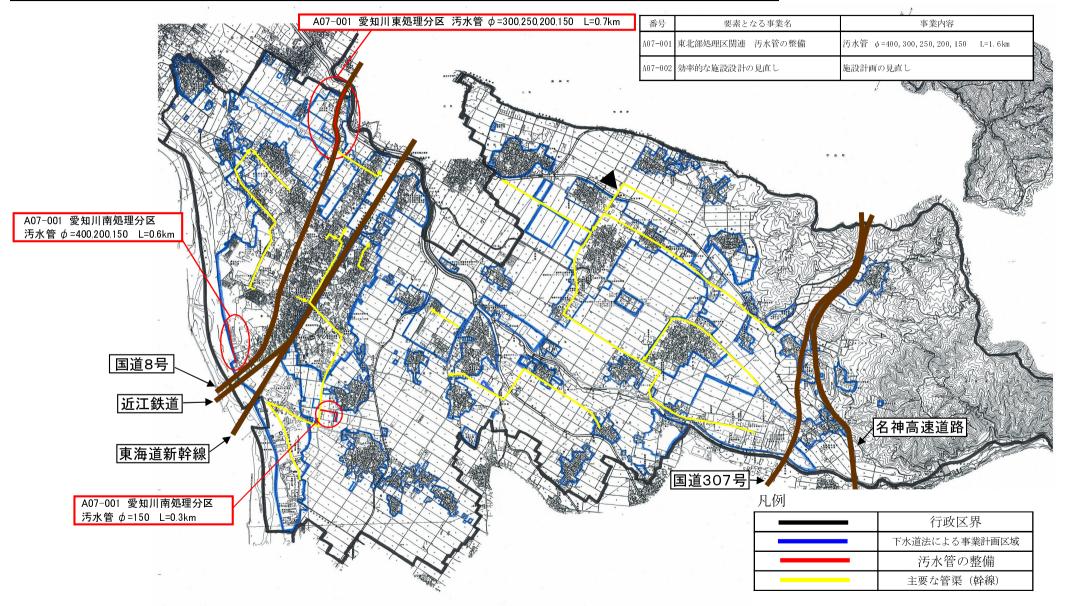
## 交付金の執行状況

(単位:百万円)

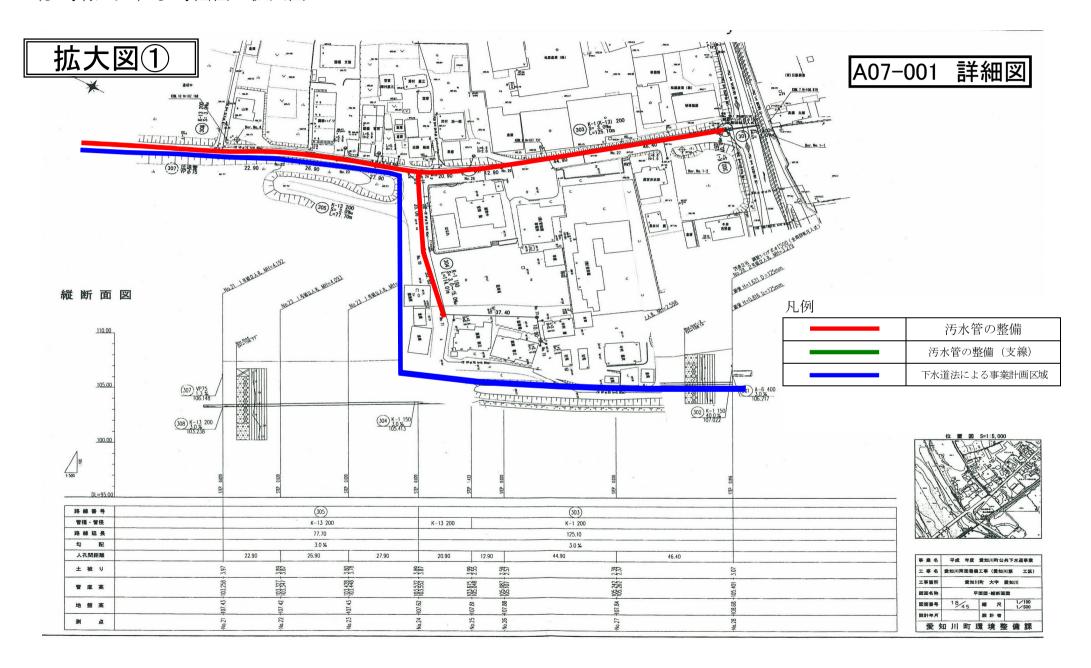
				(+12,1111)
	H28	H29		
配分額 (a)	61	43		
計画別流用増 減額 (b)	0	0		
交付額 (c=a+b)	61	43		
前年度からの繰越額 (d)	0	32		
支払済額 (e)	29	55		
翌年度繰越額 (f)	32	20		
うち未契約繰越額(g)	0	20		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	26.66		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場		河川管理者との協議におい		
合その理由		て、埋設位置や工法の協議		
		  に不測の日数を要し、それ		
		に伴い発注が遅れたため		

## (参考様式3)参考図面

計画の名称	1 愛荘町における良好な水環境の形成(その 2)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	愛荘町



## (参考様式3)参考図面 拡大図



## 社会資本総合整備計画チェックシート

(滋賀県愛荘町下水道事業(汚水))

計画の名称:愛荘町における良好な水環境の形成(その2)

事業主体名:愛荘町

<u>チェック欄</u> I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1)基本方針(汚水処理施設整備構想、流総計画等)と適合している。 0 2)上位計画(事業認可等)と整合性が確保されている。  $\bigcirc$ ②地域の課題への対応 1)地元情勢の変化を踏まえている。 O 2)社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。  $\bigcirc$ Ⅱ. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 O 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 0 3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。  $\circ$ 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。  $\circ$ ④事業の効果 1)費用対効果について充分に効果がある。  $\circ$ 2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。  $\bigcirc$ Ⅲ. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 1)供用開始区域の接続率の向上が見込まれる。  $\bigcirc$ 2)計画の具体性など、事業の熟度が高い。  $\circ$ 3)地元住民の同意や要望がある。 0 4) 事業実施のための環境整備が図られている。